決議案朗読

横山忠長

秋田県にかほ市長

司会

福島県相馬市長

立谷秀清

道路整備促進期成同盟
会全国協議会副会長

閉会の挨拶

広島県三原市長

五藤康之

道路整備促進期成同
盟会全国協議会会長

決　議

一、平成二十四年度の道路予算については、削減することなく概算要求額の全額確保を図ること。

一、国土の根幹的な社会基盤施設である高規格幹線道路等については、国の責任においてミッシングリンクを早期に解消するため、整備目標年次を明確にし、着実に整備を推進すること。

一、東日本大震災等の教訓を踏まえ、安全で安心できる国土づくりのため、防災・減災に資する道路整備を全国的に推進すること。

一、大規模な災害に対応するため、災害に強い道路ネットワークの整備や広域的かつ機動的な危機管理体制の確保を、平常時から国の責任において図ること。

一、市町村分を対象とした社会資本整備総合交付金の一括交付金化については、市町村との協議が整わない場合には、来年度からの導入はしないこと。

一、道路利用者の意見を十分反映した道路整備を行うこと。

平成二十三年十一月二十九日

安全・安心の道づくりを求める全国大会

来賓紹介

【国会議員・本人】

〈衆議院議員〉

浅野貴博、石田祝稔、井上信治、衛藤征士郎、江藤拓、大西孝典、小里泰弘、金田勝年、北村誠吾、小林正枝、近藤和也、近藤三津枝、坂本哲志、佐田玄一郎、柴山昌彦、空本誠喜、高市早苗、髙木毅、高橋英行、竹下亘、竹本直一、橘慶一郎、棚橋泰文、道休誠一郎、長島忠美、野田国義、藤田大助、皆吉稲生、矢﨑公二、山口俊一、山井和則、山本幸三、山本有二、吉泉秀男

〈参議院議員〉

磯﨑仁彦、岩井茂樹、上野通子、衛藤晟一、岡田直樹、佐藤信秋、柴田巧、外山斎、中原八一、姫井由美子、藤井孝男、山本順三、吉田博美、渡辺孝男

【高速道路株式会社】

橋本圭一郎首都高速道路株式会社代表取締役会長兼社長、山内泰次東日本高速道路株式会社取締役兼執行役員 建設事業本部長、広瀬輝中日本高速道路株式会社取締役常務執行役員建設事業本部長、大津健次西日本高速道路株式会社取締役常務執行役員、南部隆秋阪神高速道路株式会社常務取締役、井口徹典本州四国連絡高速道路株式会社東京事務所長

【国会議員・代理】

〈衆議院議員〉

阿部俊子、相原史乃、赤澤亮正、東祥三、麻生太郎、石井啓一、石田真敏、石田三示、糸川正晃、江渡聡徳、遠藤利明、小原舞、小渕優子、大口善徳、奥村展三、笠原多見子、梶山弘志、金子一義、金子健一、金子恭之、鴨下一郎、川村秀三郎、河合克行、木村太郎、北村茂男、菊田真紀子、黒田雄、小池百合子、小泉俊明、古賀一成、後藤田正純、佐藤勉、佐藤ゆうこ、塩崎恭久、塩谷立、神風英男、瑞慶覧長敏、園田博之、田名部匡代、田中和徳、田村憲久、高井崇志、高野守、竹内譲、武田良太、谷公一、玉置公良、玉木雄一郎、津島恭一、中谷元、中塚一宏、中野渡詔子、中村喜四郎、二階敏博、西博義、西村康稔、額賀福志郎、野田聖子、野田毅、羽田孜、萩原仁、畑浩治、初鹿明博、花咲宏基、平沼赳夫、福島伸享、福田昭夫、古川禎久、古屋圭司、保利耕輔、細田博之、松宮勲、三谷光男、三ツ矢憲生、水野智彦、宮崎岳志、村上誠一郎、村田吉隆、望月義夫、茂木敏充、山本公一、山本拓、吉野正芳、若泉征三

〈参議院議員〉

愛知治郎、石井準一、石井浩郎、宇都隆史、上野通子、大家敏志、大島九州男、岡田広、加治屋義人、金子恵美、金子原二郎、亀井亜紀子、岸宏一、小坂憲次、自見庄三郎、榛葉賀津也、鈴木政二、関口昌一、世耕弘成、伊達忠一、谷川秀善、塚田一郎、中西祐介、中村博彦、中山恭子、野上浩太郎、野村哲郎、羽田雄一郎、長谷川岳、広田一、藤川政人、古川俊治、増子輝彦、松浦大悟、松下新平、松村龍二、丸川珠代、溝手顕正、宮沢洋一、森まさこ、山崎正昭、山本一太、若林健太、脇雅史

【祝電】

〈衆議院議員〉

石森久嗣、漆原良夫、柿沼正明、川口浩、小池百合子、中塚一宏、松本純、山岡賢次、若井康彦

〈参議院議員〉

佐藤信秋、橋本聖子、牧山ひろえ、脇雅史

（敬称略）

黒木定藏宮崎県西米良村長

『藤井孝男参議院議員』

綿貫会長には長い間ご指導いただいて、道路利用者会議、あるいは千前中開催されました砂防協会主催の土砂災害から命を守る大会がございましたが、私は砂防協会の理事として綿貫会長に現在もお世話になっております。

皆様方にお伺いしたいことがございます。ここで地方整備局を廃止することに賛成の方があったら、手を挙げてください。一人もいません。民主党の皆さん、これが答えです。これを踏まえて行動していただきたい。このことだけは申し上げておきたいと思います。

先ほど、大阪の町長さんが、これは国難であると大変大事なことをおっしゃいました。まさに命を守るのは道路の大きな役割である。しかし、日本は災害だけではありません。今のデフレの状況、超高齢化社会、そして先の大震災、原発事故、まさに今は国難の時であるからこそ、その根幹、大きな柱となる道路網のネットワーク、そしてそれをつかさどる整備局、各都道府県知事、首長さん、そして国政、この一体となった広域のネットワーク、そのことが、今、国難をどうやって乗り切るかの最大の山場に来ていると思います。

あなたはもう一つ大事なことを言いました。国防という言葉を使った。道路も国防の1つです。空港、港、鉄道も。そして尖閣諸島の問題があった。自衛隊法の中に領海警備という言葉は1つも出てこないのです。海上自衛隊の艦船が日本の領海を守っているとほとんどの方は思っている。でも、法律上は領海警備とは一言もない。あれは何で行動しているか。調査・研究という言葉が自衛隊法の中にある。それを拡大解釈して、領海警備という形でパトロールし、不審船が来た場合、海上自衛隊はどうするか。すぐ行動できない。海上保安庁にこういう不審船がいるから取り締まれと通報するだけです。それで海上保安庁が出ていって、対応するわけです。日本の国内の安全保障の問題と海上の安全保障の問題は本当に寂しい限りです。そういう意味で、この基本たる道路網整備というのがいかに国防においても大事な道路であるかということを私は申し上げておきたいと思います。大事な日本の皆さんの命を守る道路整備というのは安全保障につながる話でありますから、我々国政も頑張っていくことをお伝え申し上げてお答えとさせていただきます。

江藤拓衆議院議員（自民党）

『江藤拓衆議院議員』

国の責任は国民の生命と財産を守ることです。これが本当の基本です。これをやるのが国の責務である。そして、西米良村長がお見えですけれども、中山間地域はトンネル一本抜けると世界が変わります。助からない命が助かる。救急車も西米良だったら熊本に病院もある。すぐ病院にかかれる。

私の宮崎は海岸の総延長が400㎞以上あります。もしあの津波がきたらと考えただけで恐ろしい。国の財政が厳しいことは我々も承知しておりますが、今この時期に、国民の生命や財産を守るために若干国の借金が増えたって、石を投げられますかね。建設国債を出したからといって、財政規律を乱していると言って怒られますかね。私はそうは思いません。何をしても駄目。大臣も期待できない。促進するしかないじゃないですか。我々地方選出の人間も東北のお手伝いをしたいけれど我々が力をつけなければもちろんできません。自分たちがまず食っていかなければいけない。そして、地方の出先、特に整備局の人たちはよく地方を歩いてくれていると私は思ってますよ。やはり民主党の先生には言いづらいけれども、役人のやる気をそいじゃ駄目ですよ。彼らの持てる力を十分発揮できるようにしてやらなければいけない。今回は大臣が国の最高責任者として、東北の震災に関しては事務とか予算とか心配しないでやりなさいという命令を出したでしょう。民主党政権下にあって。これは良かったと思います。これが本当の政治主導なんです。そして、身近なところは基礎的自治体の皆様からきちっと把握していただく。知事さんたちが前に出ることが正しいとは私は思っておりません。

持木一茂石川県能登町長

藤井孝男参議院議員（たちあがれ日本）